



2025年1月5日
1月第一主日礼拝式／聖餐式

3 「ほめよ 全地よ」

ほめよ 全地よ

大いなるイエスを

王の王 主の主 わがきみ

とわにときわに 主をたたえ

主とともに 統(す)べおさめる

118 威光・尊厳・栄誉

世界中 どこでも 新しい 歌をささげよ
主に歌え ほめたたえよ
み救いの知らせを告げよ
まことに主はおおいなる方
賛美されるべき方
威光と尊厳と栄誉 光栄と力
ただ主だけを礼拝せよ
天を造り 支えている主

新聖歌 2番 「たたえよ救い主イエスを」

- 1 たたえよ救い主イエスを くすしき愛をば宣(の)べ
あがめよ み使いとともに とうとき主の御名をば
か弱き われら羊を 飼い主イエスはいだく

* たたえよ たぐいなきみいつ たたえよ 声も高く
- 2 たたえよ 人の罪ゆえに 十字架につきしきみを
きみこそ とこしえの岩よ 変わらぬ わが望みよ
心のやまいことごと いやされ やすき受けぬ (*)
- 3 たたえよ栄えあるイエスを 御国の かどゆるがせ
ときわに すべたもうイエスに かむりをささげまつり
まもなくイエスは来たりて あまねく地をばおさめん
(*)

アーメン

使徒信条(しとしんじょう)

われは天地の造り主、全能の父なる神を信ず。

われはそのひとり子、われらの主、イエス・キリストを信ず。

主は聖霊によりて宿(やど)り、処女(おとめ)マリヤより生まれ、

ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、

十字架につけられ、死にて葬られ、陰府(よみ)にくだり、

三日目に死人のうちよりよみがえり、

天に昇り、全能の父なる神の右に座(ざ)したまえり。

かしこより来たりて生ける者と死にたる者とをさばきたまわん。

われは聖霊を信ず。

聖なる公同の教会、聖徒の交わり、

罪の赦し、身体(からだ)のよみがえり、

永遠(とこしえ)のいのちを信ず。

アーメン

新聖歌233番 「驚くばかりの」

- 1 おどろくばかりの 恵みなりき
この身の汚(けが)れを 知れるわれに
- 2 恵みはわが身の 恐れを消し
任(まか)する心を 起こさせたり
- 3 危険(きけん)をも わなをも 避(さ)け得(え)たるは
恵みのみわざと 言(ゆ)うほかなし
- 4 御国(みくに)に着く朝 いよいよ高く
恵みの御神(みかみ)を たたえまつらん

アーメン

新聖歌363番 「わが身の望みは」

1 わが身の望みは ただ主にかかれり
主イエスのほかには よるべき方なし

* わが君イエスこそ 救いの岩なれ 救いの岩なれ

2 風いと激しく 波立つ闇夜(やみよ)も
みもとに錨(いかり)を おろして安らわん *

3 この世の望みの 消え行く時にも
心は動かじ 御誓(みちか)いたのめば *

4 見ぬ世に移りて 見(まみ)ゆるその時
主の義をまといて み前に立たまし * アーメン

主の祈り

天にまします われらの父よ。

ねがわくは 御名をあがめさせたまえ。

御国(みくに)を来たらせたまえ。

御心(みこころ)の天になるごとく、地にもなさせたまえ。

われらのにちようの糧(かて)を今日も与えたまえ。

われらに罪をおかす者を、われらがゆるすごとく、

われらの罪をもゆるしたまえ。

われらをこころみにあわせず、悪より救いだしたまえ。

国(くに)と力(ちから)と栄え(さかえ)とは、

限りなく 汝(なんじ)のものなればなり。

アーメン

新聖歌60番 「天地(あめつち)こぞりて」

あめつち こぞりて

かしこみたたえよ

みめぐみ あふるる

父 御子(みこ) 御霊(みたま)を

アーメン